

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意下さい。

農作物技術情報

第6号

果樹

発行日 平成27年 8月27日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

- ◆ りんご 早生種の熟度は例年より進んでいます！適期収穫の徹底を！！
- ◆ ぶどう 全般的に熟期が早まっています！！食味を確認し適期収穫を！！

りんご

1 生育状況

(1) 果実肥大

定点観測地点(表1)の果実肥大(横径)を県平均でみると、いずれの品種も概ね平年並からやや大きくなっています。本年は開花が早かったため、初期の果実肥大は良好で、これまで少雨の傾向で経過しているため肥大が鈍化している園地もあるものの、やや大きめの果実肥大となっています。4月の低温等による奇形果やサビ果などを着果させている園地は、見直し摘果を実施しましょう。

(2) 果実品質

定点観測地点の「つがる」の果実品質を県平均でみると、硬度はほぼ平年並であるものの(図1)、糖度は高く、デンプン指数もやや低い(図2、3)傾向となっています。ただし、地域的なバラツキが見られます。

開花は早まり、極早生品種の収穫も例年より早まったことから、収穫期が例年より早まると思われます。ただし、気温の高い天候が続いているため、着色の遅れ、早生種で果肉への蜜褐変の発生が懸念されます。長期予報によると曇りや雨の多くなる見込みであり、着色が遅れる可能性があります。適期の着色管理並びに適期収穫に努めましょう。

表1 りんごの果実肥大(横径)状況(8月21日現在)

(単位:mm)

8月21日時点 の生育状況	つがる					ジョナゴールド					ふじ				
	本年 (H27)	前年 (H26)	平年	前年 比(%)	平年 比(%)	本年 (H27)	前年 (H26)	平年	前年 比(%)	平年 比(%)	本年 (H27)	前年 (H26)	平年	前年 比(%)	平年 比(%)
岩手町	83.7	83.2	80.4	101	104	79.8	75.7	78.8	105	101	74.2	71.9	71.8	103	103
盛岡市	85.4	86.9	80.4	98	106	83.1	82.0	78.3	101	106	79.5	76.0	72.8	105	109
紫波町	80.2	74.6	83.6	108	96	78.1	70.1	78.6	111	99	77.7	77.3	74.8	101	104
花巻市	87.1	90.7	81.8	96	106	80.8	82.8	80.2	98	101	73.0	75.0	71.9	97	102
農研センター	85.0	87.4	82.8	97	103	80.0	79.4	79.8	101	100	77.0	75.8	73.7	102	104
北上市	—	—	—	—	—	86.0	80.8	82.5	106	104	77.3	77.9	77.0	99	100
奥州市前沢区	83.2	81.9	83.3	102	100	79.7	77.7	78.6	103	101	75.3	74.9	75.1	101	100
奥州市江刺区	81.6	82.8	80.1	99	102	83.7	81.1	79.5	103	105	75.6	70.9	70.6	107	107
一関市花泉町	86.2	86.2	82.4	100	105	80.6	77.6	78.8	104	102	72.8	70.6	70.5	103	103
一関市大東町	—	—	—	—	—	82.0	82.3	77.6	100	106	74.6	75.6	73.2	99	102
陸前高田市	87.2	79.7	82.3	109	106	83.3	81.4	77.7	102	107	76.8	75.0	71.9	102	107
宮古市	83.6	79.4	80.2	105	104	84.0	80.6	80.5	104	104	79.3	73.8	74.0	107	107
岩泉町	—	84.1	80.8	—	—	82.4	85.0	76.6	97	108	74.3	72.3	72.4	103	103
二戸市	—	—	—	—	—	79.2	76.8	79.1	103	100	79.4	79.3	73.5	100	108
県平均(参考)	84.2	83.0	81.5	102	103	81.7	79.5	79.0	103	103	76.1	74.7	73.0	102	104

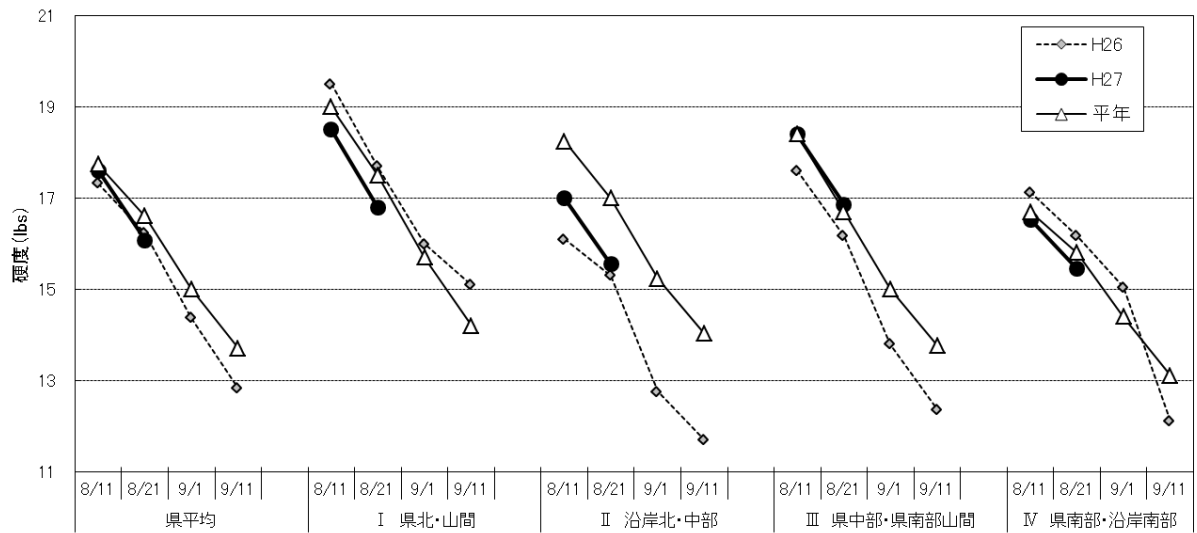


図1 つがるの硬度の経時変化

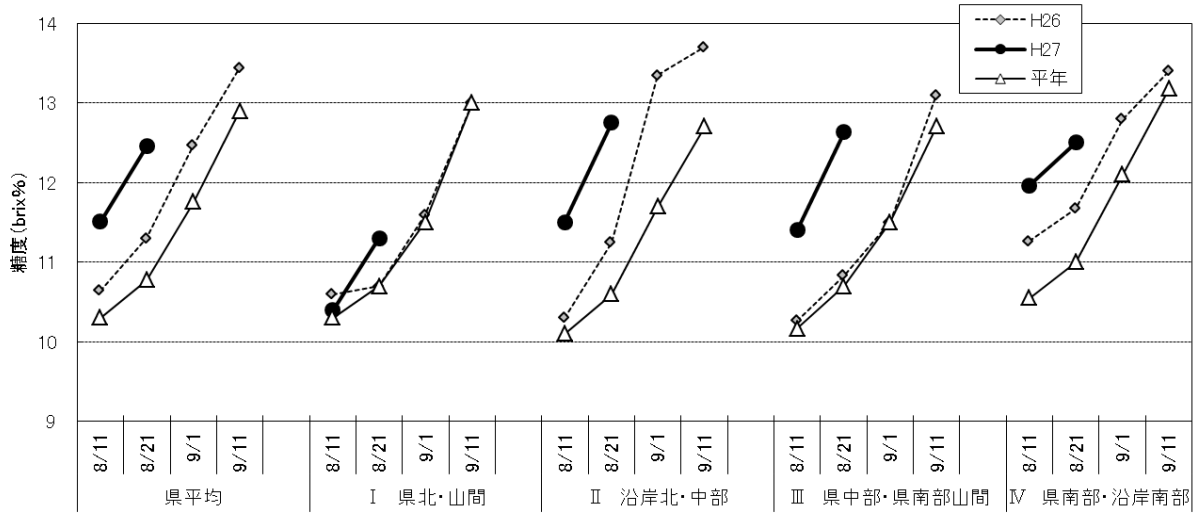


図2 つがるの糖度の経時変化

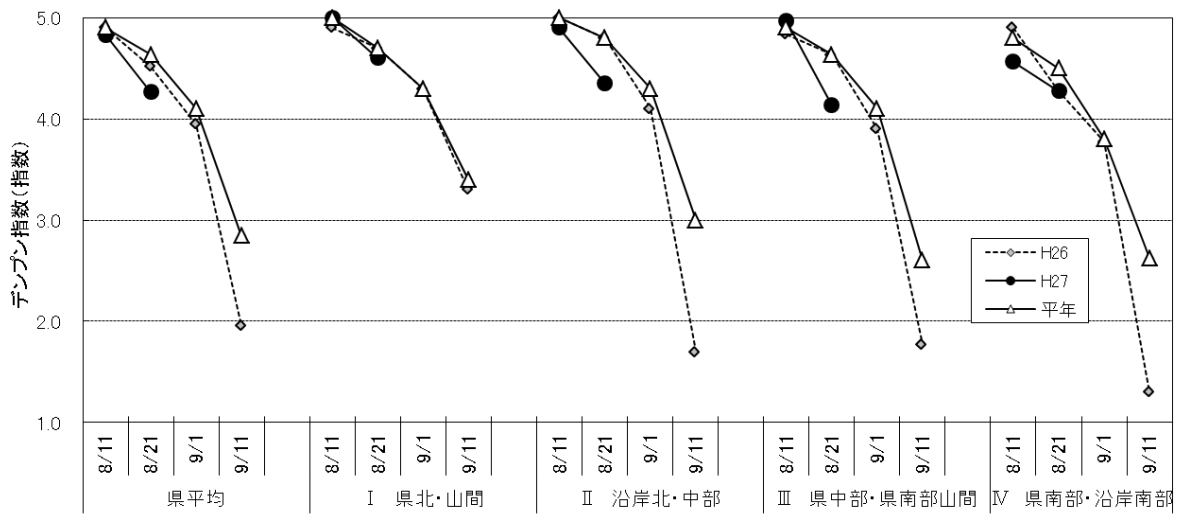


図3 つがるのデンプン指数の経時変化

2 管理作業

(1) 早生種の着色管理

葉摘み作業が遅れている場合でも、果皮に急に直射日光が当たると日焼けが発生しますので、徐々に葉摘みを進めましょう。高温が予想される日には、極力、果面の温度が上がる午後から実施しましょう。

(2) 早生収穫

すぐりもぎが基本です。特に熟期が不揃いな「つがる」や「きおう」は徹底しましょう。

※ 詳細は、7月30日発行の「農作物技術情報第5号 果樹」をご覧ください。

(3) 「紅いわて」の収穫について

「紅いわて」は着色の良い品種であるため、着色のみで収穫を判断し、収穫が早すぎてしまうと食味が劣り、品種の評価を落とすことになります。食味を重視し、系統販売等、輸送して販売を実施する場合はデンプン指数2～2.5、直接販売を実施する場合はデンプン指数2程度を目安に収穫を行ってください。糖度については13%以上を目標とし、硬度は13ポンドを下回らないよう注意してください。

表2 「紅いわて」の年次別果実品質 (岩手農研)

年次	満開日 (月日)	収穫日 (月日)	満開日 起算日数	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)
2014	5月9日	9月17日	131	299	15.1	14.9	0.38
2013	5月17日	9月24日	130	268	14.5	14.3	0.28
2012	5月9日	9月19日	134	307	14.4	13.8	0.31
2011	5月16日	9月30日	137	282	12.6	14.4	0.32
2010	5月16日	10月1日	140	283	14.0	13.8	0.28
2009	5月5日	9月18日	135	292	13.0	13.4	0.34
平均	5月12日	9月23日	135	289	13.9	14.1	0.32

(4) 中生種の着色管理

ア 「ジョナゴールド」などの着色管理は、1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉や枝カゲをつくらないように玉回しを収穫まで2～3回行います。玉回しと同時に適度な強さに葉を摘みます。

イ りんごの着色適温は10～20℃です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進まないため、過度の葉摘みとならないよう注意します。

(5) 「ふじ」の着色管理

ア 「ふじ」は、着色期間が30～40日間と長いため、陽光面が着色してきた頃（9月下旬～10月上旬）と10月中～下旬の2回に分けて葉摘みを行います。1回目の葉摘みは、果実に密着する葉を摘む程度とし、2回目は適度な強さまで葉を摘み、陽光面の着色が進んできたら葉や枝カゲを残さないよう玉回しを行います。

イ 過度の葉摘みは、葉が少なくなり果実の着色や蜜入りが劣り、翌年の花芽の充実が悪くなるなどマイナスの影響が出ますので注意してください。

3 病虫害防除および気象災害対策

(1) 病虫害防除

今後の気象条件によって、斑点落葉病や褐斑病、ハダニ類等が発生することがあります。予察情報等を参考にして、必要な防除を実施しましょう。農薬を使用するに当たっては、使用基準（倍率、収穫前日数等）に十分注意してください。

(2) 台風対策

これから、台風が多く発生する時期になります。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、台風の接近前に収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策を講じてください。

(3) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内が過湿となった場合、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を講じましょう。

(4) 日焼け果

今後も気温が高く推移する見込みのため、日焼け果の発生が懸念されます。前号で原因と対策について記載していますので参照してください。

ぶどう

1 生育状況

8月15日時点の定点調査地点における「キャンベルアーリー」の果実品質は、果実肥大、糖度ともに平年より高くなっています。特に糖度は平年より大幅に早く上がっています(表3)。また、着色開始は全般的に平年より早い状況でしたが、一部、品種で着色の遅れ、裂果も見られます。

2 収穫

収穫は着色、糖度などの食味に留意しながら、品種ごとの基準糖度に達してから行います。過熟になると商品価値が落ちるので、適期収穫に努めましょう。

※ 詳細は、7月30日発行の「農作物技術情報第5号 果樹」をご覧ください。

表3 ぶどう(キャンベルアーリー)の生育状況(定点調査地点:紫波町赤沢)

	8月15日現在				
	新梢長(cm)	節数(葉数)	房長(cm)	果径(mm)	糖度(%)
本年(H27)	114.5	15.2	16.7	20.0	13.0
前年(H26)	111.7	15.3	13.4	20.5	12.0
平年	134.1	17.4	15.4	18.9	8.4
平年比	85%	87%	108%	106%	155%
前年比	103%	99%	125%	98%	108%

次号は9月30日(水)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

熱中症防止

- 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に注意。
- 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。
- 屋内では遮光や断熱材の施工等により、作業施設内の温度が著しく上がらないようにするとともに、風通しをよくし、室内の換気に努めること。作業施設内に熱源がある場合には、熱源と作業者との間隔を空けるか断熱材で隔離し、加熱された空気は屋外に排気すること。

6月1日～8月31日は 農薬危害防止運動期間です

- 近隣住民・周辺環境に配慮しましょう
- 農薬散布準備、作業中・後の事故に注意しましょう
- 農薬の保管・管理は適切にしましょう

中央農業改良普及センター 県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。